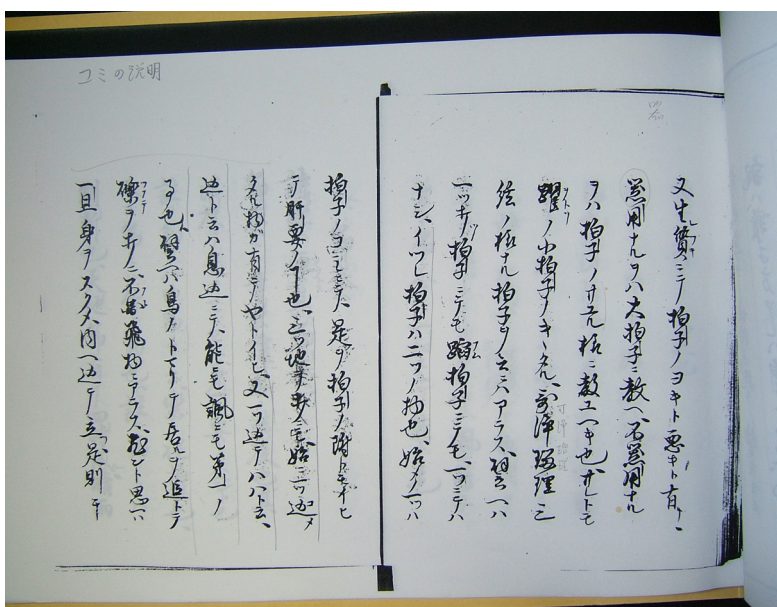
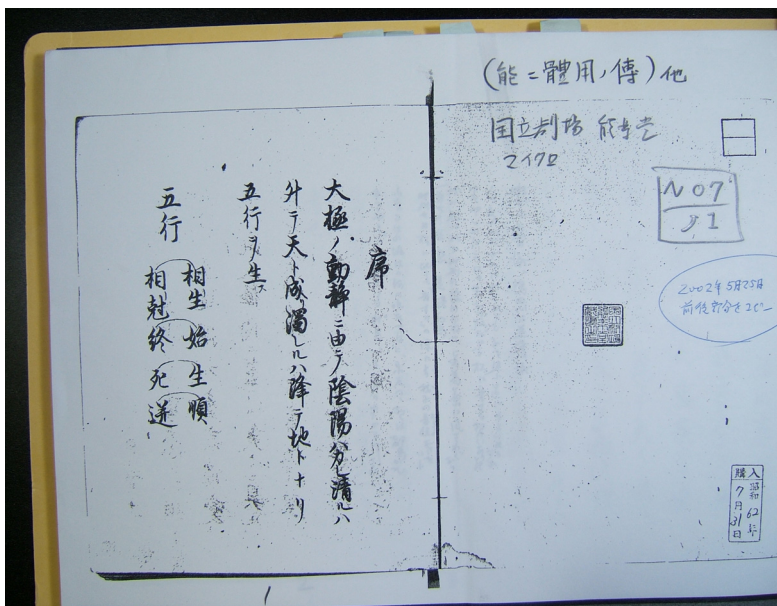


著者不明 『能二体用ノ伝』

謡伝書。拍子についての条として「二四六八ノ拍子」「五拍子」等。前者は、本地からオクリまでの拍子の枠を説明する条。後者は、謡い出しの名称として「陰ノ拍子、陰ノ拍子ノ程、本ノ拍子、本ノ拍子ノ程、二ノ拍子」等をあげ、それぞれ説明している。また「謡ヨリ鼓ヲ聞合セ囃子方ノ拍子ニ合セテ謡フベキ事ニアラズ」等、江戸期の歌い手が、地拍子に対してどのような態度をとっていたかが伺える点で、有益な書物。「コミ」についての詳しい説明も見られる。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…

著者 奥附…

その他の場所…

出版 版次…

出版地…

出版社…

出版年…

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…

寸法…

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…複写

備考 国立能楽堂蔵のものを部分的に複写した

もの。